

令和 6 年

第 15 回 教育委員会 定例会

議 事 録

佐 渡 市 教 育 委 員 会

令和6年 第15回 **定例**・臨時委員会 議事録

委 員 会 日 程		会 場
開会日時	令和6年12月25日 午前・ 後 14時00分	佐渡島開発総合センター 2階 第3会議室
閉会日時	令和6年12月25日 午前・ 後 16時11分	
延会日時	令和 年 月 日 午前・後 時 分	
出 席 者	欠 席 委 員	会 議 録 署 名 委 員
教育長 香遠 正浩		加藤 雄一郎
1番委員 加藤 雄一郎		瀧川 紀子
2番委員 瀧川 紀子		
3番委員 岩崎 奈美		
4番委員 後藤 まき子		
議 案 説 明 の た め 出 席 し た 職 員		
教育次長	鈴木健一郎	学校教育課
教育次長補佐	兼社会教育課長	課長 渡邊 一哉
	市橋 秀紀	管理主事 本間 智英
教育次長補佐	兼教育総務課長	
	柳澤 正二	世界遺産推進課
		課長 正治 敏
教育総務課		文化財室長 藤井 隆博
課長補佐	若林 昭宏	埋蔵文化財係長 鹿取 渉
総務係主任	小林 唯美	
傍 聴 人	有・ 無	
報告の 要旨	「議事の概要」のとおり	

会 議 で 行 っ た 選 挙 の 結 果
なし

会議に付議した事件の題目	
議案第 85 号	佐渡市学校事務職員の職務に関する基本要綱の一部を改正する訓令の制定について
議案第 86 号	佐渡市立学校文書取扱規程の制定について
議案第 87 号	佐渡市文化財保護審議会への諮問について
議案第 88 号	佐渡市教育委員会職員の分限処分に係る専決処理について
議案第 89 号	佐渡市学校再編統合協議会委員の委嘱に係る専決処理について
報告事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校情報について 2 佐渡市伝統芸能継承事業補助金交付要綱の一部改正について 3 一般財団法人佐渡文化財団運営費補助金交付要綱の一部改正について 4 佐渡市女性団体活動事業補助金交付要綱の一部改正について 5 佐渡市青少年育成事業補助金交付要綱の一部改正について 6 佐渡市小中学校 PTA 連合会活動事業補助金交付要綱の一部改正について 7 佐渡市地域公民館分館活動事業補助金交付要綱の一部改正について 8 その他
協議事項	佐渡市教育振興基本計画（案）について
次回会議開催日	
採決の結果及び可否の数を計算したときは、その数	
なし	
請願、陳情	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
有の場合、別紙のとおり	
その他必要と認めた事項	
特になし	

【議事の概要】

<p>・香遠教育長</p> <p>・柳澤教育総務課長</p>	<p>◎本定例教育委員会は、午後 2 時 00 分から開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ただ今から令和 6 年第 15 回佐渡市教育委員会定例会を開催いたします。 ・ はじめに、日程第 1 「議事録署名委員の指名について」ですが、本日の署名委員は、佐渡市教育委員会会議規則第 18 条の規定により、加藤委員と瀧川委員の 2 名を指名いたしますので、よろしくお願いいたします。 ・ 日程第 2、議案第 85 号「佐渡市立学校事務職員の職務に関する基本要綱の一部を改正する訓令の制定について」、事務局の説明を求めます。 ・ 柳澤教育総務課長。
<p>・香遠教育長</p> <p>・委員全員</p> <p>・香遠教育長</p>	<p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 29 年 4 月に学校事務の職務規程の改正が行われ、それに合わせ佐渡市学校管理運営に関する規則等の例規も改正されました。しかし、本訓令については当時、改正が行われなかったため、関係歴との整合が取れるよう文言の修正を今回行うものです。修正内容につきましては、3 ページの新旧対照表にあるように、旧の第 2 条、2 項に主事が従事し、主任及び主査がとなっていたものを、主事、主任及び主査がと変更します。 ・ ただ今の説明に対して、質疑等ありますか。 ・ 質疑なし。 ・ 質疑なしと認めます。採決いたします。本案は、原案どおり決することにご異議ありませんか。 ・ 異議なし。
<p>・香遠教育長</p> <p>・委員全員</p> <p>・香遠教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異議なしと認めます。よって議案第 85 号「佐渡市立学校事務職員の職務に関する基本要綱の一部を改正する訓令の制定について」は、原案どおり可決されました。 ・ 日程第 3、議案第 86 号「佐渡市立学校文書取扱規程の制定について」事務局の説明を求めます。柳澤教育総務課長。
<p>・柳澤教育総務課長</p>	<p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本規定ですが、佐渡市立小中学校における文書の取扱規程の必要な事項を定め、学校における事務処理の効率化及び適正化を図るものであります。これまで市の文書規定に準じて市立の小中学校も適切に文書管理をしていましたが、統一的な指針で管理ができるよう、規程を整備して可視化させるものです。 ・ 規程の内容につきましては、学校における文書の作成、整理、保存、廃棄、公開等を体系的に管理するために必要な事項が載せてあります。 ・ この規程の制定により学校内の文書の適正な管理が図られるものと思っております。 ・ この訓令の施行につきましては、令和 7 年 4 月 1 日から実施するものであります。
<p>・香遠教育長</p> <p>・加藤委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ただ今の説明に対して、質疑等ありますか。加藤委員。 ・ はい。意見です。文書扱いについて、今までなかったものですが、学校自体はもうこのように、だいたいやっけていて、部分部分では、ハッキリしないとか、

<ul style="list-style-type: none"> ・香遠教育長 ・柳澤教育総務課長 ・香遠教育長 ・委員全員 ・香遠教育長 ・委員全員 ・香遠教育長 	<p>担当誰だったのだろうとかが確かにあったように思います。この規約改正、規程ができたことによって、ぜひ、その周知、学校の事務職員、それから管理職含めて、ただこうなりましたというだけでなく、例えば、今まで問題になったこと、処理のところでおかしかったとか、印押してなかった、押さなくてはいけないのに押してなかったとか、点検が上手くいってなかった、文書がどこいったか分からないとか、ちょっとした事例を上げながら、そういう面で今回の規定で具体的にこんなふうにしたので、ぜひ確認をお願いします。ということで周知の方、ぜひお願いしたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 柳澤教育総務課長。 ・ 今ご意見いただいた点を踏まえて、校長会なり、事務担当者会議で改めて周知をさせていただきたいと思います。 ・ ありがとうございます。他に何かありますか。 ・ 質疑なし。 ・ 他には質疑なしと認めます。採決いたします。本案は、原案どおり決することにご異議ありませんか。 ・ 異議なし。 ・ 異議なしと認めます。よって議案第 86 号「佐渡市立学校文書取扱規程の制定について」は、原案どおり可決されました。 ・ 次に日程第 4、議案第 87 号から日程第 6、議案第 89 号まで及び報告事項 1 については、「個人情報に関する内容及び公表前の内容が含まれている」ことから、佐渡市教育委員会会議規則第 7 条の規定により秘密会としたいので、これに賛成の方は挙手をお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> ・委員全員 ・香遠教育長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全員挙手。 ・ はい。全員挙手であります。よって、議案第 87 号から報告事項 1 までを秘密会とすることといたします。 <p>【秘密会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議案第 87 号「佐渡市文化財保護審議会への諮問について」、正治世界遺産推進課長より説明する。 <p>【以上の議案については、質疑を経て原案どおり可決された。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議案第 88 号「佐渡市教育委員会職員の分限処分に係る専決処理について」、柳澤教育総務課長より説明する。 ・ 議案第 89 号「佐渡市学校再編統合協議会委員の委嘱に係る専決処理について」、柳澤教育総務課長より説明する。 <p>【以上の議案については、質疑を経て原案どおり承認された。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 報告事項 1 「学校情報について」、本間管理主事より説明する。 <p>【以上の報告については、質疑を経て終了した。】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・香遠教育長 ・市橋社会教育課長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次に報告事項 2 「佐渡市伝統芸能継承事業補助金交付要綱の一部改正について」事務局から説明を求めます。市橋社会教育課長。 <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 佐渡市伝統芸能継承事業補助金交付要綱の一部改正についてですが、1 ペー

<ul style="list-style-type: none"> ・香遠教育長 ・委員全員 ・香遠教育長 	<p>ジの新旧対照表をご覧ください。表の右側、旧の欄の申請書には印鑑のしるしがありますが、押印廃止とすることで、新の欄の申請書にはそのしるしがありません。同様にこの後続く誓約書、取下げ書、着手届等、この資料にある全書類で押印廃止することによる改正となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ では、ここまでの説明に対して質疑等ありますか。 ・ 質疑なし。 ・ 質疑なしと認めます。この後、補助金交付要綱の改正案件がいくつかありますが、先ほどの説明同様、押印廃止とそれに伴う様式の軽微な改正ですので、一括して報告をさせていただきたいと思えます。 ・ 報告事項3「一般財団法人佐渡文化財団運営費補助金交付要綱の一部改正について」から、報告事項7「佐渡市地域公民館分館活動事業補助金交付要綱の一部改正について」事務局の説明を求めます。市橋社会教育課長。
<ul style="list-style-type: none"> ・市橋社会教育課長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先ほどの佐渡市伝統芸能継承事業補助金交付要綱の一部改正同様、一般財団法人佐渡文化財団運営費補助金交付要綱、佐渡市女性団体活動事業補助金交付要綱、佐渡市青少年育成事業補助金交付要綱、佐渡市小中学校PTA連合会活動事業補助金交付要綱、佐渡市地域公民館分館活動事業補助金交付要綱、以上の補助金交付要綱の一部改正ということで、これらに関する書類で押印を廃止し、利便性を高めていきたいと考えております。
<ul style="list-style-type: none"> ・香遠教育長 ・加藤委員 ・香遠教育長 ・市橋社会教育課長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ただ今の説明に対して、質疑等ありますか。 ・ 変わるのは、様式のこの押印がなくなったということだけですね。 ・ 他に変わるところはありますか。 ・ 押印廃止の他にメールアドレスを書く場所を新たに加えました。これによりメールでの申請や実績報告などが可能となります。
<ul style="list-style-type: none"> ・香遠教育長 ・委員全員 ・香遠教育長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ その他、質問等ありますか。 ・ 質疑なし。 ・ 質疑なしと認めます。
<ul style="list-style-type: none"> ・市橋社会教育課長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次に報告事項8「その他」事務局からありますか。市橋社会教育課長。 ・ 社会教育課からお願いです。社会教育課では、社会教育委員という委員がおりますが、その委員の方から社会教育に関して教育委員の皆様と意見交換をしたいという要望があり計画をしても良いか伺わせてください。
<ul style="list-style-type: none"> ・香遠教育長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意見交換会の主な内容は、やはり組織改編による移管に伴うことが中心でしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・市橋社会教育課長 	<p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織改編に関しては教育委員会から市長に意見書を提出いたしました。その意見書の内容については、皆さん内容をだいたい網羅し、納得しております。 ・ 社会教育全般についての意見交換を教育委員会委員の皆様と行えないかという要望ですが、方法としては予め社会教育委員からの質問等をお渡しした上で意見交換会を開くということも可能です。また、日程についても教育委員会後に勉強会という形で1時間ほど割いていただくようなことも考えております。新年度も社会教育委員会は同じメンバーですので、これから今年度末まで皆様

<ul style="list-style-type: none"> ・香遠教育長 ・鈴木教育次長 ・市橋社会教育課長 ・瀧川委員 ・香遠教育長 ・瀧川委員 ・市橋社会教育課長 ・香遠教育長 ・委員全員 ・香遠教育長 ・加藤委員 ・瀧川委員 ・市橋社会教育課長。 ・香遠教育長 ・事務局 ・香遠教育長 ・香遠教育長 	<p>のご都合がつかないようでしたら、新年度に入ってからでもかまいません。柳澤教育総務課長と相談して方法、日程等調整できればと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員の皆様、いかがでしょうか。 ・ 主旨というか、経緯というか…前向きなことですよね。 ・ 実は社会教育委員からは以前から意見交換を希望する声が上がっていました。 ・ 前に何か、一回意見とかを書いて出していただいたことがありますよね。 ・ 去年ですね。意見はいただきましたが、意見交換会の方はしませんでしたね。 ・ やってないですよ。ただ、こういうふうに細かく考えてくださってるのだな。こういうことやりたいとか、こうであったとか。全部書いていただきました。 <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育委員の方々からは今年も各公民館の事業に参加したり、キャンプでお手伝いしたりという方法で事業を見ていただいております。来年度で委員の2期目が終わりますが、来年度2年分の事業を精査した上で教育委員の皆様にし、意見及び提案をさせていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。 ・ これまで、教育委員と社会教育委員の間で意見交換会をあまりしたことがないかと思いますが、良い機会でもありますし、委員の皆様いかがでしょうか。 ・ はい。よろしくお願いいたします。 ・ 提案ですが、今後の定例会で議案がそれ程多くない時に、併せて意見交換会を開くというのはいかがでしょう。 ・ 意見交換会という議題があつて意見がどうのこうのというイメージが強いですが、私自身は、社会教育委員の方達が、どんなことをしているのか知らないの逆で教えて欲しい。お互いに何か共通する部分で意見交換があれば、建設的な、前向きな話し合いができると良いと思う。 ・ もしできれば、2時から集まってしまうと、どうしても残り1時間取れなくなったりすると思うので、そういう時は1時とかからで、皆さん集まっていたので勉強会の延長でやらせていただければ、ありがたいです。 ・ はい。分かりました。 ・ 今ほどのご意見を参考に、意義のある会にしたいと思います。ありがとうございました。他に事務局から何かありますか。 ・ 報告なし。 ・ ないようですので、日程第7の「報告事項」はこれで終了いたします。 ・ 日程第8「協議事項、佐渡市教育振興基本計画（案）について」の前に休憩を取ります。 ・ 再開は3時10分にいたします。 ・ では、再開します。 ・ 日程第8「協議事項、佐渡市教育振興基本計画（案）について」事務局の説
--	---

<p>・柳澤教育総務課長</p>	<p>明を求めます。柳澤教育総務課長。</p> <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> 先週、メールにて佐渡市教育振興基本計画の原案を委員の皆様にお送りしました。総合教育会議でも説明がありましたが、最終的に教育大綱を総合計画に合わせるため、今回は現行の総合計画を踏まえ、必要な修正を加え令和7年及び8年の2か年分の計画となります。 今後のスケジュールは、本日の協議後、議会にパブリックコメントを行う報告をします。パブリックコメントの期間は遅くとも1月10日から2月7日までの30日間取りたいと思います。修正の必要性等を確認し、修正及び改正を加え2月の定例会で皆様に報告なり議案としての提案をする考えでおります。 佐渡市教育振興基本計画は6つの目標と14の施策で構成されています。 今年度までは18の施策がありましたが、文化・スポーツが市長部局に移管することから、それに関連した4つの施策が省かれています。基本計画の方は変更があまりありませんが、必要な修正等を踏まえた上で皆様にお示ししております。14ページ、15ページに2か年の数値目標を上げておりますが、その点も含め皆様からご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。
<p>・香遠教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> では、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。1ページから4ページまでで、何かご意見はありますか。後藤委員。
<p>・後藤委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 4ページの6行目、本市では子どもを主語にした学びを大切にし、とありますが、これは主語でいいのかなと。子ども達が自分のよさや可能性を最大限に伸ばし、という文章ですが、これは子どもが主語で、言葉はこれでいいのかなと違和感があったのですが。
<p>・香遠教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> その事について事務局の考えをお願いします。
<p>・鈴木教育次長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 6、7行の主語は、本市はですよね。佐渡市では。
<p>・後藤委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> この主語ですが、主語よりも主体とした方が良いのではと思いました。
<p>・香遠教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 最近、子どもを中心にした、子どもを大事にしたという意味で、子どもを主語にしたという表現が使われています。
<p>・後藤委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文章としての主語っていう感覚でしたので、それでこの主語でいいのかなと思ってしまいました。すみません。分かりました。ありがとうございました。
<p>・香遠教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 気になることは、細かい点まで是非お聞かせください。4ページまでで他に何かありますか。
<p>・委員全員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 意見なし。
<p>・香遠教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> それでは、次に基本目標に移ります。基本目標1、7ページ及び8ページで何かご意見ありますか。
<p>・岩崎委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> すみません。意見っていうのは、その項目に対しての意見という意見でしょうか。
<p>・香遠教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> お気づきの点、何でも構いませんので、お願いします。
<p>・岩崎委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 考えとか意見とか。はい。
<p>・香遠教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 7ページ基本目標1「学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進」

<ul style="list-style-type: none"> ・鈴木教育次長 ・香遠教育長 ・委員全員 ・香遠教育長 ・委員全員 ・香遠教育長 ・委員全員 ・香遠教育長 ・香遠教育長 ・岩崎委員 	<p>の施策1、2、3、4、5の中身について、あるいは、この表記についていかがでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本目標の施策はこれまでしてきた議論で固まった内容を載せていて、変わった箇所としては体裁やはじめにや趣旨、基準だと思います。 ・ では、基本目標1はよろしいでしょうか。また、ありましたら戻っても構いません。基本目標2いかがでしょうか。キャリア教育の推進です。 ・ 意見なし。 ・ 進みます。基本目標3「安心・安全な学校づくり」 ・ 意見なし。 ・ ないでしょうか。基本目標4「高等教育・研究機関等との連携の強化」 ・ 意見なし。 ・ 進みます。基本目標5「一人一人が学び続ける学習環境づくり」 ・ 岩崎委員。 ・ 戻っていいですか。基本目標4ですが、畑野中学校の生徒が受けているオンラインの勉強というか、これはどういった、何か土曜学習とか。
<ul style="list-style-type: none"> ・鈴木教育次長 ・岩崎委員 ・香遠教育長 ・加藤委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域未来塾です。 ・ はい。ありがとうございます。 ・ 加藤委員。 ・ まず全体な話をすると、非常に良くまとめて、言葉も吟味して作られている。大まかなところは以前にも見させていただいたので、とても良くできていると思います。それに写真も付いてよい。細かい中身と内容については、本当に良くできていると思っています。今度、見やすさという面で字と字の間が狭くて、要するに一行の文字数が多い。例えば、5ページの上から3行目、(1) 学ぶ意欲を高め確かな学力と書かれています。文字がくっついていて。文字と文字が、学ぶ意欲というのが。字と字の間が、字間ですか、が全体的にくっついていて、何か字と字の間あけた方がいいのかな。私これ見た時、字がくっついているなという。わかりますか。
<ul style="list-style-type: none"> ・香遠教育長 ・加藤委員 ・瀧川委員 ・加藤委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言われてみれば、確かにそうですね。 ・ 字と字の間隔が結構狭い印象。書体もあるかもしれない。 ・ 書体なのかな。 ・ もう少し間隔があってもいいのかなと思ったのと、あと、写真の説明が書いてありますが、写真もいいものを選んであると思います。何とかの様子って何箇所か、例えば、11ページのその畑野中のオンラインを活用して大学生から学習支援を受ける生徒とか、佐渡学セミナーの様子とか書いてありますが、この様子って別にいらいないかなと。このオンライン活用に関しては、土曜学習&地域未来塾のことだと思いますが、例えば、そのオンラインを活用して大学生から学習支援を受ける「土曜学習&地域未来塾」って言えばそれをやっているんだなとか。ところどころ何々の様子って書いてあったり、書いてなかったりしますが、要するに体言止めで、その写真の何の写真か分かればいいので、シンプルにできるものはシンプルにした方がいいのかなと思いました。細かいと

<ul style="list-style-type: none"> ・香遠教育長 ・岩崎委員 	<p>ころですが。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いえ、細かいところも含めてお願いします。岩崎委員。 ・ すみません。この図書館カードのデザインキャラクターも説明書きがありますが、デザインキャラクターだけだと具体的に分からない。あれ、図書館、図書館じゃない。博物館キャラクターですよ。入れなくても大丈夫ですか。
<ul style="list-style-type: none"> ・香遠教育長 ・市橋社会教育課長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市橋社会教育課長。 ・ 当初、赤坂先生にお願いしていたのは佐渡博物館のキャラクターですが、佐渡市長との面談の際に博物館に限らず佐渡市全体でこのキャラクターを使用しても良いと赤坂先生に快諾していただき、博物館関連かどうかにかかわらず使えるようになっております。
<ul style="list-style-type: none"> ・岩崎委員 ・香遠教育長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ そうなんです。はい。失礼しました。ありがとうございました。 ・ あえて博物館という言葉を入れていません。他に何かありますか。 ・ 瀧川委員。
<ul style="list-style-type: none"> ・瀧川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10 ページのあすなろ教室のお子さん、この髪型とか同年代の子だとクラスのあの子って分かたりしますが、これは使っても大丈夫ですか。例えば、不登校で出てこれなくなっていると、その学級の子は分かりますよね。見た時に。本人と確認が取れたりしていればいいと思いますが。
<ul style="list-style-type: none"> ・香遠教育長 ・渡邊学校教育課長 ・瀧川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 渡邊学校教育課長。 ・ はい。この写真はあすなろ教室から共有してもらったものですが、元気のいい子で知っている人が見れば分かるかもしれません。再度、確認します。 ・ そうですね。髪型とか男の子よりも特徴があるので、一応、確認が取れていれば問題ないですが。
<ul style="list-style-type: none"> ・渡邊学校教育課長 ・香遠教育長 ・瀧川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。分かりました。確認します。 ・ ありがとうございます。他にありますか。瀧川委員。 ・ 写真以外のことで。前回、市長との会議の前にこの文章をいただいていたので、これと照らし合わせて、ほぼそれに修正とか読みやすくなっていたり、表現が変わっていたりする感じだったので私もすごく良くまとまっていて、2年間これで問題ないと思って拝見しました。施策9の安心して学べる学校づくりの(4)ですが、教育長もこのあいだ教職員が一人一人の児童生徒とじっくり向き合える時間を確保できるような環境整備を進めます。と書いてあって、確かに入学式がずれたりすることで、時間確保できたりしますが、それ以外に何か時間を具体的に持つとか、少子化になってくると、各学年のクラスが、そのまま持ち上がっているから、クラスが2クラスあれば、ちょっとした積み重ねのトラブルだったり、いざこざっていうのを清算できるタイミングがあったりとか、お友達関係でも入れ替わりができたりしますが、そのまま持ち上がりとなると、トラブルも積み重ねていくことになる。担任の先生に対するこの負担とか、見合やす力とか、より人数が少なくなってきた分、密になったり、塵が積もった状態での生徒の悩みとか切り替えができないことがたくさんあると思うので、環境を進めますということを書いてある。これは本当にどう作り

<ul style="list-style-type: none"> ・鈴木教育次長 	<p>出せていけるのかと、本当にこうしなければいけないと思いながら、この(4)が大事になってくるな。教育委員会で本当に考えなければいけないことだと思って、これを全部読んだ時に私は、ここ一番、本当にこれから大きい問題になってくると思って見ました。感想です。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・瀧川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例えば、今年度スクールサポートスタッフを大幅に増員したことで、各学校に事務作業を補助できる人材を配置できました。これにより教員の負担が多少は軽減されたのではないかと思います。これで終わらず、他にも何かできることはやっていきたいという気持ちを込めてこのように書かれています。
<ul style="list-style-type: none"> ・香遠教育長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先ほど、全国的にその不登校も多いですが、教員の先生が、佐渡の場合は特徴的に中間層がいなくて、若手か年齢が 50 歳より上の先生方が多い場合に、守秘義務も抱えて、あちこちに相談できない悩みの積み重ねが教員にもあると思います。そういった相談窓口ではないですが話せる場というような、そういった場づくりも必要なのかなと思いました。この辺が環境努め、学校での作業時間を軽減する以外にもそういうことも教育委員会で考えていかなければと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・瀧川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとうございます。13 ページまでで他に何かありますか。ないようでしたら、14 ページの評価について何かお気づきの点、ご意見等がありましたらお願いします。瀧川委員。
<ul style="list-style-type: none"> ・瀧川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。項目もそうですね。今まで出来ていたものと変わって、内容がその1に対してこの全国学力・学習状況調査、勉強好きですかという、まず根本的に勉強に関する興味の数値とか具体的でいいなと思いながら、その1に関する一番下の方の授業でPCパソコンやタブレットとかICTの機器をどの程度使用しましたか。の質問に対する「ほぼ毎日」とか「週3回」の回答。そのアンケートの項目になると思いますが、小学校は80%に対して、中学校は70%が目標になっています。実際のところは、AIドリルとかの活用も今後進めていって、中学校の学習能力が低いのだから、もともと低いところから70の目標数値じゃなく、75とか80指数で、家庭にタブレット持って帰って遅れた学習はAIドリルでやっていくことを徹底してほしい。何で小学校は80なのに中学校は70で諦めてるのかなと思って、違和感を感じたので、目標指数こんなに低くしてはいけないと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・香遠教育長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厳しいご指摘をいただきました。
<ul style="list-style-type: none"> ・瀧川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本当にそう思います。AIドリルをしっかり活用し、放課後教室で学力を上げていこうと言いながら。
<ul style="list-style-type: none"> ・香遠教育長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。説明をお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> ・渡邊学校教育課長 	<p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 我々としても、家でも使用してもらえよう毎日持ち帰ることを推奨しています。中学で現在62.1%という数値結果が出ていることを踏まえ、現状として2年間で最低限のところまで結果が出せるようにしたいという思いから70%という数値を出しております。ですが100%までいけるよう努めてまいりたいと思います。配布中のタブレットは家で使用するのに充電器がもう1台必要な

<ul style="list-style-type: none"> ・ 瀧川委員 ・ 鈴木教育次長 ・ 瀧川委員 ・ 鈴木教育次長 ・ 瀧川委員 ・ 渡邊学校教育課長 ・ 瀧川委員 ・ 渡邊学校教育課長 ・ 岩崎委員 ・ 香遠教育長 ・ 岩崎委員 ・ 香遠教育長 ・ 渡邊学校教育課長 ・ 岩崎委員 ・ 香遠教育長 	<p>点や、重さなどに課題があります。来年度、新しいタブレットに交換することを機に、生徒の利用の更なる促進に向けて働きかけてまいりたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 62.1%はA I ドリルがまだ使われていない、許可もらっていない時の数字ですね。 ・ 中学校でのA I ドリルは今年度から導入されたので、この数字はそれ以前の目標値だと思います。 ・ 前の数字ですよ。だから、その数字と70って。 ・ そうですね。75まで上げましょうか。 ・ 75にしましょうよ。 ・ この数字ですが、A I ドリルの利用に特化した数字ではなく、授業における利用も含まれています。それらを考慮に入れて週何回使用しているかを確認するものです。授業中も調べたりすることに使ったり、いつも傍に置いて利用するところまでいけるような取り組みをしていきたいと思っています。 ・ もちろん分かりますよ。ただ活用するにあたって、教育委員会が遠慮しなくてもいい目標数値ではないかと。10の差が小学校、中学校にあるなんて、そこで中学生に諦めの数字が見えているようで。強く言いました。すみません。 ・ では、目標値を75に引き上げます。 ・ すみません。 ・ 今の内容に関連していますか。 ・ 今のことです。いいですか。すみません。そのタブレットのことで、子どもが中学生ですが、家に持ち帰って家庭学習している様子があんまりないので、本人に聞いてみました。毎日持って帰ってもいいのではないかと聞いたのですが、どうも先生の方で渋るのではないですが、持って帰って壊されたらどうしようと思われるのか分かりませんが、何かそういうものがあって勝手に持って帰れないと、子どもも遠慮しながら、例えば地域未来塾とかそういったものがあると持って帰って、ついでに家庭学習もやっているという、学校によっては温度差があると思うので。そのあたりを統一した方がいいのかと思います。そうすれば、もう少し数値も上がるのかな。 ・ 渡邊学校教育課長。 ・ 今年度、利用状況等いろいろ細かく聞き取った結果、学校によっても、また学年によっても差があることが分かりました。タブレットを家へ持ち帰ることを推進するよう、各学校に強く働きかけることが大切だと考えています。故障の際には修理はこちらで持つことを確約したり、保護者向けの案内文書が必要であれば、こちらで用意する旨も伝えたりして、更なるタブレット使用を促しています。来年度以降はこの働きかけを更に徹底してまいりたいと思います。 ・ はい。お願いします。 <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補足させてください。午前中の佐渡テレビの新春インタビュー収録で、教育
---	---

<ul style="list-style-type: none"> ・ 岩崎委員 ・ 香遠教育長 ・ 岩崎委員 ・ 香遠教育長 ・ 渡邊学校教育課長 ・ 岩崎委員 ・ 鈴木教育次長 ・ 岩崎委員 ・ 香遠教育長 ・ 加藤委員 	<p>委員会では生徒一人につきタブレット1台を配布し、家へ持ち帰ることを推奨していること、その目的達成のためには教員だけでなく、保護者からの理解と協力が不可欠だと話しました。我々としては、先ほど瀧川委員がおっしゃったように、生徒それぞれがタブレットを家に持ち帰り自分に合った方法で学習に役立てて欲しいと思っています。ただ、適した評価方法が確立されていません。たまたま全国学力・学習状況調査に授業での利用を問う設問があるため、これを利用することにしましたが、授業で使用するだけでなく満足するのではなく、家で利用してもらうことも推奨していきたいと思いますので、ご理解をいただければと思います。他にこの評価のところでは何かご意見等ありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これ項目全部、関係なく。 ・ 項目関係なく、14及び15ページの評価で何かありますか。 ・ こっちでもいいのですか。一つ。この6の13のコミュニティ・スクールのCSポートフォリオって、何か今年度辺りから、私もCSをやっているのによく聞きますが、数値が令和8年で100%とありますが、現実味が現時点でないかと思えます。実際、私のところにも学校側からどうですかと言われてましたが、いいですと断りました。本人にとっては怖いなという、評価されるのがどうかというのもあって、なかなか浸透しないのではないかと感じているのですが、現時点でどんな状況でしょうか。 ・ 渡邊学校教育課長。 <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ このコミュニティスクールのポートフォリオは、今年度はモデル校として3校に取り組んでいただいておりますが、来年度は全学校で取り組んでいただきたいと思っております。単なる評価のためというよりは、どこに力を入れると更に良くなるといった、より充実した内容にするための指標となるような使い方を考えています。そうすることで、何を議論したら良いか分からないといったこともなくなるのではないかと思います。 ・ そうなんですね。はい。分かりました。よろしくお願いします。 ・ もう段階的でいいんじゃないのって話が、担当としての思いが逆にこっちが強く表れてしまっている。 ・ そうですね。おっしゃる通りで、100%はどうかなってというのは。はい。努力します。よろしくお願いします。 ・ 加藤委員。 ・ はい。この評価の数値って、分かりやすかったり、怖いものだったり、でも数は大小ハッキリするので。今回いくつかの項目を抜本的に指標を変えたものがたくさんあります。素晴らしい。以前は、5年間変えられないのだと言って縛りがあって、変えてもいいのではないかと思っていたので、その面で思い切って変えていただいたことに敬意を表したいと思います。はい。時代の流れとか、今の実情に合わせて思い切ってどんどん変えてもいいのではないかと。今回、7年、8年と2年間なので、次また5年間くるのだと思いますが、ぜひ、実情を見ながら数値も100%に近づいていけば、もっと目標上げよう。70にし
---	--

たけど、それを次は 90 にしてもいいのではないかと。何年後を見越して、今世の中が目標をブーンと出すけど、CO2の排出とか言ってるけど、その途中の施策がなくて、じゃあどうするのってそれから考える時代になっているので、あの思い切って変えていただいたのは、私はいいな。また一つ一つ具体的なものも増えてますのでいいなと全体を通して思っています。その数値の指標ですが、いつも悩むのですがその質を問うのか、量を問うのかというところで、例えば基本目標の1の3。3つありますが、一番下の地域クラブ活動の参加者数。これ量ですよ。参加する人。それから裏面いって、目標5の11社会教育事業参加者数。その下、青少年健全育成事業参加者数。これも量ですね。この参加者数は増えたらいいなと思いますが、部活動に関しては部活がなくなって、中学校の部活がなくなるとそっちで行くのはいいかなという気もしますが、その社会教育事業とか健全育成参加者数とか子どもの数も島の人口もどんどん減っていくのに、この数で、評価でいいのかな。もう絶対下げないとこれ、出来るわけないと私は思っていたので、ここに※印でねコロナと書いてあって、考えてくれているのだなと思いつつ、その数なのか質を問うのか、青少年健全育成の活動で何かこう変わったことを、質を聞くものも考えられなくもないかなと思ったりもして、いつも悩むとこだと思うのです。私もこれがいいという代案がなかなかないのですが、何かこう数と質の部分、含めてあげればというのがあります。あと100%になったのが何年か続いたものは、もう削ってもいいのかなという気もしています。だったら別の次の段階、目標。まだ過渡期であれば100になったばかりだから、すぐは辞める必要はないとは思いますが。そんなところで。これも変えられるのだという面では私は大きな進歩だと思ってます。

・香遠教育長
・市橋社会教育課長

・市橋社会教育課長。今のご意見に何かありますか。
・ どういうものが良いのか分かりませんが、教育の分野は効果がすぐに表れないものや、どこに効果があるのか明確にできないものもあります。その点を考慮に入れ、参加者数で評価をしている部分があります。

・香遠教育長
・加藤委員
・香遠教育長
・加藤委員

・ 評価について他にないようであれば、全体で言い残したことがありましたら、どんなことでも構いませんのでお聞かせください。
・ はい。
・ 加藤委員。
・ 前回にも話しましたが、この柳澤課長の最初に話があった施策が18あったのが14になった。その中でスポーツ・文化関係、博物館関係とかが、抜けて4つ。抜けましたが、昔の施策でいうと11、13、15、16の4つが抜けています。その中で施策の11が大学・大学生との交流だったのですが、これは今交流のところに含まれて入ってきているので全然問題ないし、施策の13、スポーツはスポーツにいつているのでそれも抜けているのも分かりますし、施策15、昔の9になりますね。佐渡が誇る資産を活用した学習の推進。特に博物館関係のこととか、金銀山、ジオパーク、ジオアスと書いてあって、施策16が文化・芸術の振興ということで文化関係、芸術関係が載っているのですが、この基本

<ul style="list-style-type: none"> ・香遠教育長 ・加藤委員 ・鈴木教育次長 ・加藤委員 ・瀧川委員 ・加藤委員 ・鈴木教育次長 ・加藤委員 ・鈴木教育次長 ・香遠教育長 	<p>計画の1ページの真ん中辺りの、さて令和6年度にはとあるところから、数えて3行目からかな。佐渡がもつあらゆる資源を最大限に活用した地域活性化による新たな佐渡としての再生を目的に、文化・スポーツ関係事務の市長部局への所掌事務の移管が行われ。ここはもうこれを作った1番のこれだからこれを変えましたよという大きな意味のところだと私は思うので、その文化・スポーツ事務が市長部局に移管したということに関わる部分が抜けているので、なくなったと言えばそれまでなのですが。何かその所々ニュアンスが、先ほどの大学も当然入っているし、8ページの施策3の(3)。地域移行でスポーツだけではなく文化活動に親しむというのが入っていて、文化、文弥人形だとか、そういうのも入っていましたので、またこの文化活動という言葉も入っているので、前回の施策のところでも文化・芸術の振興とあったので、文化活動の中に芸術が入っていれば別にこれで問題はないのですが。何かその移行されたもののニュアンスが、もちろん連携していくのですが、教育委員会と関係するものを意図的に入れた方がいいところはないかなと思って。この文化活動の文化・芸術とか、佐渡学のこととか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9ページ。9ページの上。 ・ 佐渡学を中核とした郷土学習、この郷土学習すごく大きくて、ここにその佐渡が誇る資産のこと、ジアスもそうだし、金山もそうだし、ジオパークもそうだし、わーっと入っていて、これも全部含まれるのですが、その辺含んで入っているというのが上手く伝わらないかなと思ったりしています。上手く表現できないですが、これはこれで文章としては、まとまっている。 ・ 9ページの施策6(1)に、博物館やジオパークを活用といった文章を加え、強調した方が良くはないかというご意見ですね。 ・ 例えばね。はいはい。金銀山、ジオパーク…。 ・ 私もこの説明聞いていて、市長にも連携とか窓口とかを残してくれませんか、みたいなことを問い合わせしましたが、逆に市民の方も書いていますが、関わっている人たちはいるじゃないですか。文弥人形を教える方や地質関係だとか、地域の農業関係者も一緒に取り組みをして、市長部局に行ったら今度、学校側に教えに行った時に担当がどっちになるのか。だから連携とかそういったことが入ったの補足文が、誰が読んでもそのところ繋がりがあんだぞと、観光だけではなくて。それが確かにある方がいいと、この文章に残っているからいいかなって私も思いましたが、聞いていると、言葉で残りますって言うていた疑問が何となく。 ・ 歴史、文化、自然への理解を深め佐渡学全部入っていますが。 ・ もう少し強調した方が良くということですか。 ・ 金銀山のことジオパーク、博物館であったり、さっきの実績の話も何かね。こうちょっと「など」中にあるといいかなと。 ・ 了解しました。 ・ 今の加藤委員のご指摘に関連してですが、ジオパークという言葉が全くなくなったということでしょうか。
--	---

<ul style="list-style-type: none"> ・瀧川委員 ・鈴木教育次長 ・瀧川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全くないですね。ジオパークって言葉は。 ・ 自然という表現に含まれてしまう。 ・ でもジオパークは、高等教育、研究機関との連携（５）のところに世界遺産である金山とジラス、ジオパークなどの資産をはじめというところで、登場はしています。一人一人が学び続ける環境づくりのところ。
<ul style="list-style-type: none"> ・加藤委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館を活用した…。６ページの（５）の２つ目の○には、ここには入っている。だけど５の施策のところの１１ページのところには、それをあまり感じない。
<ul style="list-style-type: none"> ・瀧川委員 ・香遠教育長 ・瀧川委員 ・香遠教育長 ・加藤委員 ・瀧川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ そうですね。 ・ ６ページの方が具体的表現になっていますね。 ・ そうですね。基本目標からはその言葉が消えてしまっているのは…。 ・ そうですね。逆なんですね。 ・ 施策１１がどちらかという公民館の関係なので。 ・ そうですね。生涯学習に近い感じが。
<ul style="list-style-type: none"> ・鈴木教育次長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館は引き続き連携していくので、そういった意味の文章を入れる方がいいですね。
<ul style="list-style-type: none"> ・香遠教育長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。ご指摘ありがとうございます。そこを再検討いたします。他にいかがでしょうか。全体を通して何かありますか。
<ul style="list-style-type: none"> ・加藤委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 細かいところでもいいですか。５ページ４（１）の１番上の○の２行目、必要な思考力、判断力、表現力、これ中点。
<ul style="list-style-type: none"> ・鈴木教育次長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中点にすると評価の観点になってしまうので、かぎかつことか別の書き方にした方が良くもありませんね。
<ul style="list-style-type: none"> ・加藤委員 ・香遠教育長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ なるほどね。そういう意図であればいいです。はい。 ・ 他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。委員の皆様には先月から細かい点までご確認いただきありがとうございました。感謝しております。この案につきましては、先ほどの柳澤課長の説明の通り、１月１０日から概ね３０日間のパブリックコメントを行った上で必要な修正を経て、２月の教育委員会定例会で議案を提出いたします。よろしくお願ひします。
<ul style="list-style-type: none"> ・香遠教育長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次、日程第９「次回会議の開催日」について、事務局の説明を求めます。 【次回の会議は、１月２８日（火）に定例会を開催したい旨を説明した。】 ・ 以上で令和６年第１５回佐渡市教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

午後４時１１分終了